

資料3



元気で豊かな地方の創生に向けて

平成27年6月1日
高市議員提出資料

地域経済好循環推進プロジェクト

～為替変動にも強い地域の経済構造改革と地方からのGDPの押し上げ～

最重要課題への対応

- **地方創生** (地方に「しごと」をつくり、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環)
- **強い地域経済をつくる** (税・保険料収入の基盤を充実)

地域経済の好循環拡大 (地域経済イノベーションサイクルの全国展開)

- **自治体がエンジンとなり「しごと」をつくり 地方からGDPを押し上げ (0.3～0.4%程度を目途)**

ローカル10,000プロジェクト

(参考)地域経済循環創造事業交付金 先行モデル(215事業)にみる効果推計
GDP押し上げ効果:1事業あたり約1億円(フローの直接効果のみ)
初期投資額(ストック)約0.7億円

市町村の創業支援事業計画(現在1,083団体)を関係省庁が集中支援し、より生産性の高い新事業を次々と立ち上げ
自治体と地域金融機関及び商工会議所・商工会等との緊密な連携 [地域経済好循環拡大推進会議(5月26日)]

分散型エネルギーインフラプロジェクト

〔電力小売の全面自由化を好機に、家計や企業からの電気料金(約18兆円)の1割でも地域のエネルギー産業にまわれば、年間1.8兆円という資金が地域に還流する可能性〕

自治体を核として、需要家、地域エネルギー会社及び金融機関等、地域の総力を挙げてプロジェクトを推進し、
バイオマス、風力、廃棄物等の地域資源を活用した地域エネルギー事業を次々と立ち上げ

自治体インフラの民間開放

〔イニシャルコスト無しで、ビジネス拠点や生産性向上ツールとして提供〕

公共施設オープン・リノベーション(新しく素敵な公共空間を起業に提供)
地域サービスイノベーションクラウド(自治体保有情報システムで中小企業の業務を支援)

地域経済好循環推進プロジェクト

～為替変動にも強い地域の経済構造改革と地方からのGDPの押し上げ～

課題

地域経済イノベーションサイクル

産・学・金・官地域ラウンドテーブル

ローカル10,000プロジェクトの例

A市(人口8.7万人)
②⑤⑥6事業立ち上げ



A市内に本店を置く信用金庫
②⑤⑥12事業立ち上げ
(A市及び近隣自治体と連携)

分散型エネルギーインフラプロジェクトの例

B市(人口18.0万人)
エネルギー産業の立ち上げ
(12.7億円売上)



地元の2つの地方銀行
40億円程度の融資

- ・全国移住ナビ、移住・交流情報ガーデン
- ・創業支援事業計画を関係省庁が連携支援
- ・自治体インフラの民間開放
- ・地域の産業・雇用創造チャート等を活用した産業政策構築支援

➤ 地域内外の潜在的有効需要

(新しい特産品、観光、地域エネルギー需要等)

➤ 資源 (農産物、木材、地場産品、 景観・自然等)

➤ 融資資金 (地域金融機関の資金 461兆円)

➤ 労働力 (生産年齢人口の減少と人材流出)

➤ リスクマネー (不足)

(長期の期待及び企業家マインドの低下)

○ 各地域の産業政策

地域の総力を挙げて地域経済の好循環拡大に向けて取組